

標準施工仕様

- ※1:時間を厳守してください。
- ※2:外気温に応じてリガードベース専用硬化促進剤を0.5%(25℃)~2%(5℃)目安にご使用ください。
- ※3:記載の塗布量を塗布できるまで施工してください。
- ※4:ミルコンMS-2は、立ち上がり部を施工するためにリガードベースに混合する増粘剤です。リガードベースを攪拌しながら、添加してください。リガードベース18kgに対し、ミルコンMS-2を0.5~1.0kg添加してください。

【トップコート工法】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (23℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	リガードプライマー	16kg	—	16L (リガードシンナー)	0.10kg/m ²	1	—	2時間以上 6時間以内※1	—	ハケ/ローラー
上塗	リガードトップ A液	15kg	5	0~3.6L (リガードシンナー)	0.20kg/m ²	1	—	—	歩行可能:24時間以上 使用期間:48時間以上	ハケ/ローラー
	リガードトップ B液	3kg	1							

【ウレタン塗膜防水工法 ベランダ下に居住スペースがない場合(密着工法1mm厚)】

●平場仕様

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (23℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	リガードプライマー	16kg	—	—	0.20kg/m ²	1	—	3時間以上 12時間以内	—	ハケ/ローラー
防水材	リガードベース	18kg	※2	0~0.5L (リガードシンナー)	1.4kg/m ²	※3	16時間以上 72時間以内	16時間以上 72時間以内	—	コテ/ゴムベラ/ ローラー
上塗	リガードトップ A液	15kg	5	0~3.6L (リガードシンナー)	0.20kg/m ²	1	—	—	歩行可能:24時間以上 使用期間:48時間以上	ハケ/ローラー
	リガードトップ B液	3kg	1							

●立上り仕様

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (23℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	リガードプライマー	16kg	—	—	0.20kg/m ²	1	—	3時間以上 12時間以内	—	ハケ/ローラー
防水材	リガードベース (ミルコンMS-2添加※4)	18kg	※2	0~0.5L (リガードシンナー)	1.4kg/m ²	※3	16時間以上 72時間以内	16時間以上 72時間以内	—	コテ/ゴムベラ/ ローラー
上塗	リガードトップ A液	15kg	5	0~3.6L (リガードシンナー)	0.20kg/m ²	1	—	—	歩行可能:24時間以上 使用期間:48時間以上	ハケ/ローラー
	リガードトップ B液	3kg	1							

【ウレタン塗膜防水工法 ベランダ下に居住スペースがある場合(密着工法2mm厚)】

●平場仕様

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (23℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	リガードプライマー	16kg	—	—	0.20kg/m ²	1	—	3時間以上 12時間以内	—	ハケ/ローラー
防水材 (1回目)	リガードベース	18kg	※2	0~0.5L (リガードシンナー)	1.4kg/m ²	※3	16時間以上 72時間以内	—	—	コテ/ゴムベラ/ ローラー
防水材 (2回目)	リガードベース	18kg	※2	0~0.5L (リガードシンナー)	1.4kg/m ²	※3	16時間以上 72時間以内	16時間以上 72時間以内	—	コテ/ゴムベラ/ ローラー
上塗	リガードトップ A液	15kg	5	0~3.6L (リガードシンナー)	0.20kg/m ²	1	—	—	歩行可能:24時間以上 使用期間:48時間以上	ハケ/ローラー
	リガードトップ B液	3kg	1							

●立上り仕様

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (23℃)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	リガードプライマー	16kg	—	—	0.20kg/m ²	1	—	3時間以上 12時間以内	—	ハケ/ローラー
防水材 (1回目)	リガードベース (ミルコンMS-2添加※4)	18kg	※2	0~0.5L (リガードシンナー)	1.4kg/m ²	※3	16時間以上 72時間以内	—	—	コテ/ゴムベラ/ ローラー
防水材 (2回目)	リガードベース (ミルコンMS-2添加※4)	18kg	※2	0~0.5L (リガードシンナー)	1.4kg/m ²	※3	16時間以上 72時間以内	16時間以上 72時間以内	—	コテ/ゴムベラ/ ローラー
上塗	リガードトップ A液	15kg	5	0~3.6L (リガードシンナー)	0.20kg/m ²	1	—	—	歩行可能:24時間以上 使用期間:48時間以上	ハケ/ローラー
	リガードトップ B液	3kg	1							

- 製品については下記までお問合せください。



製造・販売元 株式会社アステックペイント
〒812-0013
福岡県福岡市博多区博多駅東3-14-1 9F

astecpaints.jp

ver.202310

FRP防水のベランダ専用 改修工法



リガードシリーズ

FRP防水のベランダの防水層を
保護・再生し
お住まいを水から守ります。



強溶剤形二液ベランダ専用ウレタン系上塗材

リガードトップ

無溶剤形一液ベランダ専用ウレタン系塗膜防水材

リガードベース

強溶剤形一液ベランダ専用ウレタン系下塗材

リガードプライマー

リガード専用希釈剤

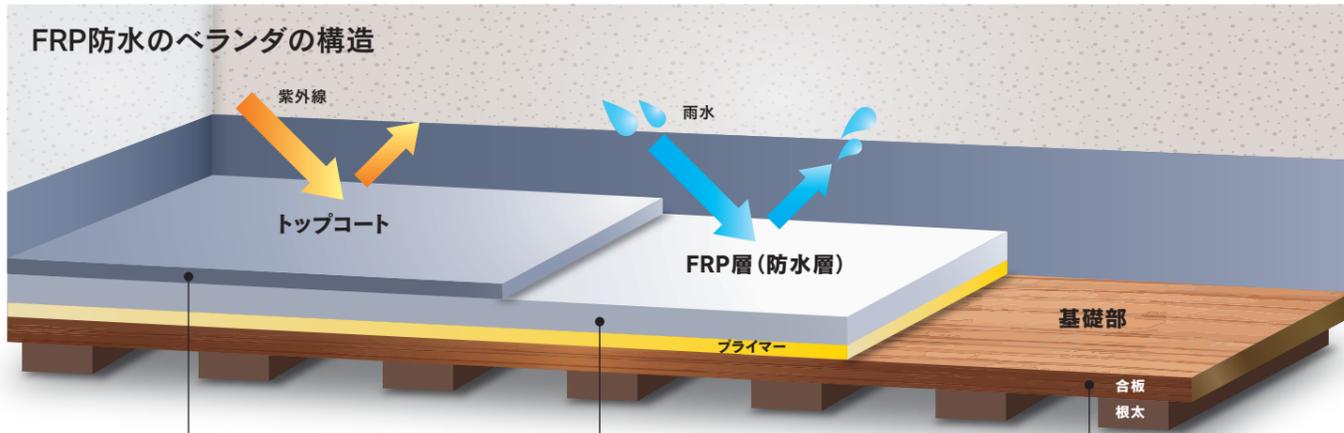
リガードシンナー

リガードシリーズはFRP防水のベランダの防水層を保護し、大切なお住まいの長寿命化に貢献します。



ベランダは雨水が溜まり劣化しやすいため、5～8年に一度のメンテナンスが必要です。

ベランダは、建物の中でも最も水が溜まりやすい場所です。そのため、新築の木造住宅のベランダの大半はFRP防水が施されています。しかし、紫外線や雨水にさらされているうちに、ベランダのFRP防水は劣化します。そのまま放置していると、雨漏りや建物自体の劣化に繋がる可能性もあるため、定期的なメンテナンスが必要です。



FRP層を紫外線から守る層
メンテナンスの周期が5～8年程度のため、定期的な塗り替えが推奨されます。

基礎部を水から守る層
トップコートが劣化し、紫外線にさらされ続けると、FRP層が劣化し、強度と防水性の低下に結びつきます。

ベランダの骨組み部分
ベランダの骨格となる木材部分。トップコート・FRP層が劣化し、水にさらされ続けると漏水する可能性があります。

FRP防水のベランダのメンテナンスのサイン

※屋根の有無や日当たりなどのばく露環境、および清掃やダメージの有無などにより、劣化症状の発生時期は変動します。

初期症状
目安:新築から約5～10年程度
「汚れ」や「色ムラ」、
「藻の発生」などが見られます。

中期症状
目安:新築から約10～15年程度
トップコートの「ひび割れ」や「剥離」
などが見られます。

末期症状
目安:新築から約15～20年程度
「防水層の劣化」などが見られ、
雨漏りなどに繋がる可能性があります。

トップコート工法

ウレタン塗膜防水工法

防水工事専門業者に依頼

FRP防水のベランダにメンテナンスのサインが見られる場合は、早期の修繕がおすすめです。

製品情報

リガードトップ
強溶剤形二液ベランダ専用ウレタン系上塗材

【対応素材】ベランダ・バルコニー (FRP防水下地)
【試験結果】■硬度・付着性 全て社内試験規格合格(参考試験方法: JIS K 5600 塗料一般試験方法) ■摩耗性 社内試験規格合格(参考試験方法: JIS K 7204 プラスチック-摩耗輪による摩耗試験方法) ■衝撃性・耐水性・耐アルカリ性・耐酸性・凍結融解サイクル・すべり抵抗性・屋外暴露 全て合格※社内試験による
【製品データ】
荷姿: 18kgセット(A液: 15kg, B液: 3kg)
6kgセット(A液: 5kg, B液: 1kg)
色: グレー
可使用時間: 4時間以内(23℃)

リガードベース
無溶剤形一液ベランダ専用ウレタン系塗膜防水材

【対応素材】ベランダ・バルコニー (FRP防水下地)
【試験結果】■JIS A 6021 建築用塗膜防水材 引張性能・引裂性能・加熱伸縮性能・劣化処理後の引張性能・伸び時の劣化症状・固形分・硬化物密度 全て合格 ■容器の中での状態・塗装作業性・塗膜の外観 全て合格※社内試験による
【製品データ】
荷姿: 18kg, 9kg
色: グレー

リガードプライマー
強溶剤形一液ベランダ専用ウレタン系下塗材

【対応素材】ベランダ・バルコニー (FRP防水下地)
【試験結果】■容器の中の状態・作業性・外観・粘度 全て社内試験規格合格(参考試験方法: JIS K 5600 塗料一般試験方法) ■JIS K 5601 塗料成分試験方法 塗膜の状態・加熱残分 全て合格 ■付着強さ 社内試験規格合格(参考試験方法: JIS A 5536 床仕上げ材用接着剤) ■密度 合格※社内試験による
【製品データ】
荷姿: 16kg, 4kg
色: 透明

リガードシンナー
リガード専用希釈剤

【製品データ】
荷姿: 16kg

【施工上の注意】
●施工にあたっては、カケログ及び、製品ラベルに記載の注意事項をよく読んでご使用ください。
●パンフレット裏面に記載の数値は、標準的なものであり、実地の状態、形状、施工条件、気象条件などにより、多少の幅が生じます。
●気温5℃以下、湿度80%以上の場合は施工は避けてください。屋外施工では翌日まで、降雨、降雪が予想される場合は施工は避けてください。
●材料は直射日光を避け、室温5℃以下、30℃以上にならない室内で保管してください。
●できるだけ皮膚に触れないように取扱ってください。必要に応じて有機ガス用防毒マスク、手袋などの保護具を着用してください。
●換気を十分にを行い、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
●溶剤系塗料の場合は、引火性がありますので、取扱いの際は火気に充分ご注意ください。
●多液型塗料の場合は、電動攪拌機で十分に攪拌し、硬化不良にならないようにご注意ください。
●リガードベースは開缶後、速やかにご使用ください。

FRP防水のベランダのメンテナンスに最適なりガードシリーズ ~ベランダの防水層を保護・再生します~

トップコート工法

紫外線から防水層を保護します。

FRP防水のベランダの初期の劣化症状を放置していると、トップコートの保護性能が低下していきます。リガードトップは紫外線に強く、ベランダの表面をコーティングすることで、防水層を保護できます。リガードトップのメンテナンスの周期は5～8年のため、定期的な塗り替えが推奨されます。

▶メンテナンスを行なった場合

リガードトップが紫外線から防水性を保護します。



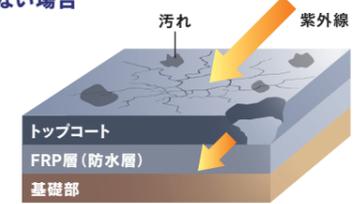
▶メンテナンスを行なわない場合

紫外線によりトップコートが破壊され、ひび割れや剥離などの劣化症状が発生します。



リガードトップ

防水性の保護



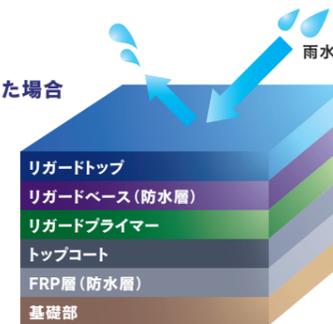
ウレタン塗膜防水工法

基礎部を守る防水層を再生します。

FRP防水のベランダの中期劣化症状を放置していると、FRP層が劣化し防水性が低下します。防水性が著しく損なわれると、基礎部(合板・根太)まで水が浸入し、腐食してしまう危険性もあります。リガードベースは、ベランダに施工することで、雨水の浸入を抑制する防水層を蘇らせます。

▶メンテナンスを行なった場合

新たな防水層が雨水の浸入を抑制し、ベランダを保護します。



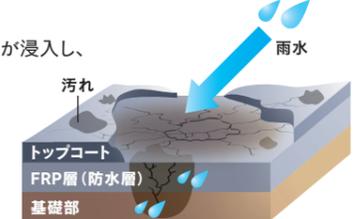
▶メンテナンスを行なわない場合

トップコートが剥離し、FRP層のひび割れから雨水が浸入し、基礎部の腐食や、雨漏りが発生する可能性があります。



リガードトップ リガードベース

防水性の再生



防水工事はベランダの美観を蘇らせます。

ベランダ防水工事は、表面をコーティングすることで、ベランダの美しさを蘇らせることができます。

